　　様式　１

　　　　　　　　　　　　　学　　位　　申　　請　　書

|  |
| --- |
| 令和 年 月 日  　　鳥取大学長　　原　田　省　　殿  　　　　　　　　　　　　　　　　申請者　　　　　　　　　　　　　 印  　　　　このたび鳥取大学大学院学則第31条により学位論文を提出しますので  　　　ご審査くださいますよう関係書類を添えて申請します。 |

申　請　者　調　書

申請者氏名　　鳥取一郎

主論文

Measurement of intraocular pressure by both invasive and non-invasive techniques in rabbits exposed to head-down tilt

（ヘッドダウンテルト負荷ウサギにおける侵襲的ならびに非侵襲的な眼圧測定）

（著者：鳥取一郎、東京薫、岡三郎、鳥取次郎、鳥取三郎、鳥取肆朗、鳥取晤郎、

　　　　鳥取六郎）

平成22年　Japanese Journal of Physiology　掲載予定

主論文作成場所　　鳥取大学

参考論文

1. Acute hemodynamic effects of bunazosin in congestive heart failure-differing responses according to degree of cardiac dysfunction

（うっ血性心不全患者におけるブナゾシンの急性効果－心機能別の反応）

（著者：鳥取一郎、東京太郎、鈴木三郎）

平成18年　General Pharmacology　24巻　200頁～210頁

2. 核上性舌下神経麻痺およびAvellis症候群を呈した延髄小梗塞の1例－下の核上性支配について考察－

（著者：鳥取一郎、大山花子、佐藤○子、田中○郎、○原○雄）

平成19年　臨床内科学　36巻　692頁～695頁

勤務先及び身分　鳥取大学大学院医学系研究科学生

　　　　　　　　鳥取大学医学部附属病院医員（第一内科診療科群）

連絡先住所（電話番号）　米子市西町36-1（33-1234）

指導教授氏名（自署） 印

履　歴　書

本　籍　　　鳥取県

縦５cm×横４cmデータ貼付け可×

現住所　　　鳥取県鳥取市東町1丁目2番地

生年月日　　昭和40年4月1日

性　別　　　男

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名

学　歴

　平成 9年 4月 1日　　鳥取大学医学部医学科入学

　平成15年 3月20日　　同上卒業

　平成15年 4月30日　　医籍登録第○○○○号

　平成17年 4月 1日　　鳥取大学大学院医学系研究科医学専攻博士課程入学

　平成18年 4月 1日　　同上休学

　平成19年 4月 1日　　同上復学

　平成22年 3月31日　　同上修了見込

大学院設置基準第14条による履修期間

　平成17年 4月 1日～平成18年 3月31日

　平成19年 4月 1日～平成22年 3月31日（予定）

職　歴

　平成15年 5月 1日　　鳥取大学医学部附属病院研修医に採用

　平成17年 3月30日　　同上退職

　平成17年 4月 1日　　○○病院医師（内科）に採用

　平成19年 9月30日　　同上退職

　平成19年10月 1日　　鳥取大学医学部附属病院医員（第一内科診療科群）に採用

　　　　　　　　　　　現在に至る

論　文　目　録

主論文

Measurement of intraocular pressure by both invasive and non-invasive techniques in rabbits exposed to head-down tilt

（ヘッドダウンテルト負荷ウサギにおける侵襲的ならびに非侵襲的な眼圧測定）

（著者：鳥取一郎、東京薫、岡三郎、鳥取次郎、鳥取三郎、鳥取肆朗、鳥取晤郎、

　　　　鳥取六郎）

平成22年　Japanese Journal of Physiology　掲載予定

参考論文

1. Acute hemodynamic effects of bunazosin in congestive heart failure-differing responses according to degree of cardiac dysfunction

（うっ血性心不全患者におけるブナゾシンの急性効果－心機能別の反応）

（著者：鳥取一郎、東京太郎、鈴木三郎）

平成18年　General Pharmacology　24巻　200頁～210頁

2. 核上性舌下神経麻痺およびAvellis症候群を呈した延髄小梗塞の1例－下の核上性支配について考察－

（著者：鳥取一郎、大山花子、佐藤○子、田中○郎、○原○雄）

平成19年　臨床内科学　36巻　692頁～695頁

学　位　論　文　要　旨

Measurement of intraocular pressure by both invasive and non-invasive techniques in rabbits exposed to head-down tilt

（ヘッドダウンテルト負荷ウサギにおける侵襲的ならびに非侵襲的な眼圧測定）

　微小重力環境下におかれた生体では、体液の頭方移動が生じることが知られている。こうした体液移動の結果、宇宙飛行士の眼圧（IOP）が上昇することが報告されているが、その時間経過や発生機序に関する詳細な検討はなされていない。・・・・・・・・・

方　法

　実験には体重2.3～3.2 ㎏の白色家兎を用いた。ペントバルビタールによりウサギを麻酔し、非動化して人工呼吸下に実験を行った。眼圧の測定は、2つの方法を用いて行った。侵襲的方法では、25ゲージ針を左前眼房に刺入し、・・・・・・・・・・

結　果

　リザーバーの高さを変えると、圧トランスジューサーにより測定した眼圧（IOPNEEDLE）は素早く応答し、1分以内に一定値に達し、その後5分間は変動しなかった。IOPNEEDLEは、リザーバーの高さから予測される値と極めて近い圧を示した。・・・・・・・・・・

考　察

　圧トランスジューサを用いた侵襲的眼圧測定は、ウサギの眼圧を正確に測定し得ることが判明した。また、トノペンを用いて非侵襲的にウサギ眼圧の測定を行った場合、絶対値を知るには校正が必要であるが、・・・・・・・・・・

結　論

　針刺入による侵襲的方法ならびにトノペンによる非侵襲的方法の両者は、ウサギの眼圧測定に用い得ることが示された。ウサギにおける45度HDT負荷は、微小重力が眼圧に及ぼす影響を調べ、その対策を講じる上で有用な実験モデルになると期待される。

参　考　論　文　要　旨

1. Acute hemodynamic effects of bunazosin in congestive heart failure

-differing responses according to degree of cardiac dysfunction

（うっ血性心不全患者におけるブナゾシンの急性効果－心機能別の反応）

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

2. 核上性舌下神経麻痺およびAvellis症候群を呈した延髄小梗塞の1例－下の核上性支

配について考察－

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

別紙様式

承　　　諾　　　書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 令和　　年　　月　　日

　　鳥取大学大学院医学系研究科長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名：　　　　　　　　　　　印

　　私は、下記論文を、私と共著した　鳥取一郎　が主として行った研究であることを

認め、貴研究科に学位論文として提出することを承諾します。下記論文が学位授与論文

として認められた後、鳥取大学及び国立国会図書館が、インターネットの利用により同

論文またはその要約を公表することは差し支えありません。

　　　また、私は、当該論文を学位論文として提出しておらず、将来においても提出しま

せん。

記

著者：鳥取一郎、東京薫、岡三郎、鳥取次郎、鳥取三郎、鳥取四朗、鳥取五郎、

　　　鳥取六郎

論文題目：Measurement of intraocular pressure by both invasive and non-invasive

　　　　　techniques in rabbits exposed to head-down tilt

雑誌名、巻、頁：平成22年　Japanese Journal of Physiology　予定

別紙様式

Letter of Agreement

To the Dean

Tottori University Graduate School of Medical Sciences

I approve submission of the research paper listed below, written by Ichiro Tottori, main author, and others as a degree thesis for Tottori University Graduate School of Medical Sciences. When the thesis is accepted for a doctoral degree, it becomes

permissible for this thesis to be published over the Internet by Tottori University and the National Diet Library.

I attest that this paper has not been or will never be submitted as my thesis for any degree to any course or school or to any publications in Japan or abroad.

Authors : Ichiro Tottori, Kaoru Tokyo, Saburo Oka, Jiro Tottori,

Saburo Tottori, Shiro Tottori, Goro Tottori, Rokuro Tottori

Title : Measurement of intraocular pressure by both invasive and non-invasive techniques in rabbits exposed to head-down tilt

Journal, volume, page : 2008, Japanese Journal of Physiology, in press

Printed Name : Kaoru Tokyo

Signature :

Date :

学位論文審査委員会委員選出願

令和　　年　　月　　日

　医学系研究科長　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導教授　　　　　　　　　　　印

　学位論文申請者（　　　　　　　　　）の審査委員会委員を次のとおり選出願いたいので、審議願います。

　　　主　査　　○　○　○　○　　教　授

　　　副主査　　○　○　○　○　　教　授

　　　副主査　　○　○　○　○　　教　授

博士学位論文の公表にかかる申立書

令和　　　　年　　　月　　　日

鳥取大学長　　原田　省　　殿

氏　　名　　　　　　　　　　　　　　　　印

鳥取大学学位規則第11条の規定に定める博士学位論文の公表について、同条第2項の規定に

基づき下記の理由により、全文に代えて当該論文の要約をもって行うことについて、承認願

います。

記

（１）学位論文名：

（２）審査委員(主査)氏名：

（３）学位論文全文を公表できない理由（出版社への著作権移譲を理由とする場合、Copyright transfer agreementの添付等により、記載を簡略化することもできる。）

　　　　　　　　　　　　当該理由の解除（予定）年月日　　　　　年　　　月　　　日

Application of Publication of Doctoral Thesis

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Date:

　　To the President

　　 Tottori University

Name: 　Seal

|  |
| --- |
| I would appreciate it if you approve publication of the summary of my thesis in lieu of publication of |
| the full Doctoral Thesis text based on Article 11-2 of the Rules for Degrees at Tottori University. |

（１）Title：

（２）Name of Chief Examiner：

（３）Reason I can not publish the full text of Doctoral Thesis

|  |
| --- |
| Date when the above reason no longer applies: |